

「もったいない」から「ありがとう」へ

フードバンクにいがた



ふーどん通信 No.9 2016年12月冬号

発行：フードバンクにいがた事務局

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2

Tel 025-384-4466 Fax 025-384-8224

E-mail: fbn@roukyou.gr.jp

長岡センター Tel 090-2142-6119

~~~~~

## フードバンクは挑戦だ！

~~~~~

美味しいものにはワケがある

～第3回にいがた食の映画祭報告～

10月29日(土)、食育花育センターにて、第3回にいがた食の映画祭を開催しました。この食の映画祭は、「フードバンクにいがた」の有志によって始められたものです。食品廃棄や食の貧困など、食の問題を映画で発信し、豊かな食文化をもつ新潟の人たちに関心を持ってもらうのがねらいです。今回は、映画上映の他に、「段ボールコンポスト講座」(新潟市廃棄物対策後援)、「親子の味噌づくり体験」(石山味噌後援)、「フードバンクにいがた」や「そらいろ子ども食堂」などのパネル展示を行いました。

映画は、「オーガニック信仰」制度としてのオーガニックを消費者は、はたして本当に分っているのか。「JUST EAT IT」賞味期限が残っているのになぜ捨てられる食品がでるのか。「バナナの逆襲 第1話」労働者に農薬被害を出した企業の傲慢さを裁判であぶり出す。というように今回も、食の問題を考えてもらうのにインパクトのある作品を選びました。参加者からは、「ファストフードに頼りがちだったが、これからはスーパーで買って来てできるだけ料理をしようと思った」。「食べものが安くなったり、高くなったりするのは、何か原因があるということを改めて学んだ」。「子育ての頃、真剣に食品の事とか農薬の勉強もしてました。子供も離れ、年金生活になって、今はスーパーで簡単に手に入るもので生活してます。安い品にはわけがありますね。とても刺激になりました」。「食の映画祭に参加して良かった。他にも食べ物に関する映画がないか知りたい」。等々の感想を頂きました。



食べ頃が待ち遠しい味噌づくり体験 (運営委員：真柄 渉)



「親子の味噌づくり体験」に参加致しました。独り身の私が参加して良いのだろうか・・・、とっていると親子参加の他に友人達と参加など様々でした。石山味噌さんの手作りキット「みそ屋ちゃんて手づくり体験」を使用しました。石山味噌の伊藤さんの丁寧な教えを頂きながら、同じテーブルで初めてお会いした人達と「こうでしょうか?」「お隣さんのテーブル見てみましょう」などおしゃべり。味噌の材料を混ぜる訳ですが、思いのほか長く混ぜる作業が必要とされ「これでいいんでしょうか?」と同じテーブルの人達に聞きながらの作業でした。そんな風に、和気あいあいとした空気を醸し出した雰囲気がさらに味噌の発酵を促すなぁと感じたところでした。ちなみに食べ頃は、6か月後の来年4月頃だそうです。

2016にいがたワーク&ライフフォーラム in 新発田

9月25日に、にいがたワーク&フォーラムのセッションが敬和学園大学で行われました。フードバンクにいがたは「食品廃棄ロス削減シンポジウム」と名打って、フードバンク新発田の副代表土田雅穂氏と、株式会社開成の代表取締役遠山忠宏氏、両名をお招きして講演をして頂きました。

フードバンク新発田の土田氏より活動報告とこども食堂、そして貧困世帯の新発田での実情等を語って頂きました。母子家庭の貧困問題では、「助けてとは言えない」、頑張りすぎて母親が体を壊してもっとひどい状態になる、そういった家庭を支援したいと言った思いを語って頂きその流れでこども食堂の活動も語って頂きました。子供には食事は楽しい、と言う思いを感じて欲しい。子供の頃に色々な食事をしないと大人になってもその時の感情が残ると言う思いを語って頂き、食事の取り方の大切さや食を通しての地域の連携、地域資源を活かして貧困を無くそうと言う想いが伝わる講演でした。



フードバンク新発田副代表土田氏



株式会社開成代表取締役遠山氏

瀬波バイオマスエネルギーの話として、遠山氏が「開成」で行っている地域循環型社会の想いを語って頂きました。具体的な話だと、生ゴミ発電での話で、地域の飲食店で出た、生ゴミでメタンガスを作り発電、ビニールハウスで食べ物を作り、地域の食にかかわる店舗に卸す等の話やビニールハウスで作っているドラゴンフルーツは東京の有名デパートに卸している話をしてくれました。遠山氏がやっている地域循環システムは廃棄物の壁がある為に中々広まらない現実があり、議員に協力を訴えていると言っていました。

初めて仕事をやってみた

食の支援をするという観点からフードバンクは単に食品を提供するにとどまらず、食を得ていく方法も提供するという広がりを持ってきました。つまり、食は職からという自立支援の必要性です。

そこで、新潟の生活困窮者や若年無業者（いわゆるニート・ひきこもり）にも働くことによる「生きがい」「やりがい」を育み、自立できる自信を持ってもらうため、各種関連団体からの職業体験を積極的に受け入れています。今年度は若年無業者就労支援団体より3名、障がい者就労支援団体より3名、大学より3名、行政より1名の方々を受け入れ、倉庫管理、フードドライブ等の事務や作業補助などの場で活躍してもらっています。

例えば、これなら出来る、出来たと自信が持てた作業は何かという質問に、「受付、食品を貰いに来た人の対応。自分は人とのコミュニケーションが苦手で、今回の就労体験で大分良くなったと思います」という感想を頂いています。



敬和学園大学生による職場体験後の発表会

子ども食堂に関心のある方

子ども食堂ネットワーク 事務局

電話：03-5365-2296 FAX：03-5365-2298

メール：info@kodomoshokudou-network.com



生活困窮者支援に関心のある方

新潟パーソナルサポートセンター

電話：025-385-6851 FAX：025-385-6852

メール：niigata-pscenter@bz04.plala.or.jp

私ども石山味噌醤油株式会社は、明治39年の設立以来、「ぬくもり醸して健康に」を社訓として新潟の地で活動して参りました。米処である新潟のお米に合うような味噌と醤油の加工品や調味料などの商品をご提供させていただいております。様々な食品を作っていく中で避けて通れないことのひとつが、「食品廃棄」の問題です。弊社としても、まだ食べられる商品なのに廃棄せざるを得ないことがあることに心を痛めておりました。そんな中、3年ほど前のある会合でフードバンクにいがた様の活動を知り、縁あって協力させていただいております。弊社にとっても勉強になることが多々ありました。賞味期限は残っているものの販売期間が短いために出荷できなかった商品をお客様に食べていただけることは、製造メーカーとして何より喜ばしいことです。また普段は問屋様等への販売が主である弊社にとって、フードバンクにいがた様を通して消費者の方のご意見をお聞きできることはいい機会でした。最近では味噌作り体験を開催する場もご提供いただく等、食育活動のお手伝いもさせていただきました。これからもフードバンクにいがた様の活動に協力させていただき、フードバンクにいがた様とともに弊社も成長していけることを願っております。（石山味噌醤油株 担当者記）



石山味噌百年看板

一年の計は、かんたんにおやり

ふーどんの活動日誌

- ・10月1日～12月22日、若者サポート事業で女性1名、就労体験受け入れ（写真1）
- ・10月1日、連合新潟地域協議会「北・東区労組研修会」で講演（真木、写真2）
- ・10月9日、小千谷市社協「福祉ふれあいフェスティバル」でフードドライブ
- ・10月10日、新潟医療福祉大学でフードドライブ
- ・10月15日、紫竹山小学校PTAまつりでフードドライブ（写真3）
- ・10月16日、新潟薬科大学でフードドライブ
- ・10月22日、新潟大学でフードドライブ
- ・10月25日、長岡センター活動報告会（長岡センター山崎）
- ・10月29日、第3回にいがた食の映画祭開催
- ・11月13日（新潟）、11月23日（長岡）、「福祉介護健康フェア 2016」で宣伝
- ・11月14日～25日、ジョブトレーニングで敬和学院大学の学生4名受け入れ
- ・12月1日、JA上越で講演

気張って計画して、後で手も足も出なくなっはねえ・・・



Waste not, want not.
無駄なければ、不足なし



就労体験中の女性（右）と自身の作業をしながら随時サポートするボランティアさん



3



◇今後のフードドライブの予定 ◇

- 12月10～20日 長岡市社協（原則偶数月の10～20）
- 1月10～20日 ながおか医療生協（原則奇数月の10～20）
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 新潟市中央区万代シネ・ウインド
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 北区豊栄さわやか老人福祉センター
- 毎月20日 10:00～12:00 南区臼井デイサービス「うすい」内
- 毎月第三土曜 10～12時 新潟市いくとびあ食花 JA きらきらマーケット内
- 毎月月末金曜日 10:00～12:00 新潟市東区区役所社会福祉協議会内
- 毎週月・木 西区小針ささえあいコミュニティ生協新潟内
- 業務時間内 新潟市江南区区役所隣福祉センター社協内
- 業務時間内 新潟市江南区横越「エンディバ横越」
- 業務時間内 新潟市西区上新栄町「けやき食堂」
- 業務時間内 新潟市中央区社会福祉協議会(古町コシジ会館3階)
- 業務時間内 新潟市中央区西堀地下よろっ to ローサさま内
- 業務時間内 新潟市中央区新光町勤労福祉会館4階フードバンク事務局
- 業務時間内 新潟市南区「白根健康福祉センター」内

子ども食堂ネットワーク交流会

今年5月総会のシンポジウムで子ども食堂を取上げて以来、県下で次々と子ども食堂が立ち上がっています。私たちは県立大学村山伸子教授と共に事務局となり、市内の子ども食堂ネットワーク交流会を7/19、9/10、11/29と3回に渡り主催しました。県・市社協、県も参加し、運営のノウハウや食品などの情報交換・共有、相互の困り事の解決の為のヒント等をテーマに、市民団体、行政がそれぞれの役割や出来ることなどを話し合い有意義な交流会となりました。子ども食堂が地域の居場所となり地域の支え合い、助け合いにつながる活動になるよう、今後も支援を進めてゆきます。

28年度の寄付金・助成金等

JU新潟、(一財)新潟県ろうきん福祉財団、新潟県共同募金会、県福祉社協、日本労働組合総連合会、北陸農政局



新潟もとうとう鳥インフルエンザの被害を受けましたねえ。12月2日時点で、関川村では、3100人が24時間体制で4日間かけてやっと31万羽を処分したとのこと。これも食の問題に繋がりますねえ。

会員・ボランティア随時募集中!!



♡ご協力 ありがとうございます♡

28年度12月1日現在 団体・個人会員(敬称略・順不同) (個人会員 102名)

- ・阿賀野市社会福祉協議会 ・オフィスサポートきずな ・自立援助ホームたいむ ・新潟県労働金庫 ・燕市 ・連合新潟
- ・NPO法人女のスペースにいがた ・(一社)新潟県労働者福祉協議会 ・新潟県総合生活協同組合 ・連合中越地域協議会
- ・全農林労働組合新潟分会 ・石山味噌醤油(株) ・菊水酒造(株) ・有限会社大島鉄工所 ・UAゼンセン原信労働組合
- ・(一財)新潟県ろうきん福祉財団 ・情報労連新潟県協議会 ・日本郵政グループ労働組合新潟連絡協議会 ・原信(株)
- ・NPO法人スマイルサポート新潟 ・一般社団法人パラシュート ・ワーカーズコープ北陸信越事業本部
- ・新潟県高度情報社会生活支援センター ・一般社団法人ノブレス・オブリージュ ・日本共産党新潟市議会議員団
- ・(株)アートグラフィック新潟 ・新潟市議会議員公明党 ・ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 他

26年度4月～ 食品寄贈団体・企業(敬称略・順不同)

- ・ささえあい農場・阿賀野市社会福祉協議会・新潟県労働金庫・石山味噌醤油(株)・大和ハウス工業(株)・福田組(株)
- ・JP労組ユースネットワーク・五泉市役所・粹虎卯会
- ・丸栄製粉(株)・亀田製菓(株)・角利産業(株)・新潟市他

28年度12月現在 受入施設・団体(敬称略・順不同)

- ・地域活動C石山 ・ライフデザイン・NPO子どもセンターぼると・新潟天使園 ・スペースひなた ・たいむ ・SCLLC
- ・新潟県、新潟市、長岡市パーソナルサポートC・NPOピュアはーと ・FLIP・女のスペースにいがた 等の85団体

この他、寄贈いただいた一般家庭の皆様、生産農家の皆様、フードドライブを開催して下さった皆様、支援をいただいた会員の皆様に改めまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。